



2021年4月9日

各位

会社名 株式会社マルゼン
代表者名 代表取締役社長 渡辺 恵一
(コード：5982、東証第2部)
問合せ先 専務取締役管理本部長 萬實 房男
(TEL. 03-5603-7755)

通期連結業績及び個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

通期連結業績及び個別業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 前期連結実績との差異について

(1) 2021年2月期 通期連結実績と前期連結実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績(A) (2020年2月期)	53,580	4,813	5,197	3,593	222円23銭
当期実績(B) (2021年2月期)	45,410	3,388	3,710	2,504	154円78銭
増減額(B-A)	△8,170	△1,424	△1,486	△1,089	△67円45銭
増減率(%)	△15.2	△29.6	△28.6	△30.3	—

(2) 差異の理由

当連結会計年度は、当社グループの主要顧客である外食、ホテル・旅館等において、新型コロナウイルス感染症拡大により、飲食店等における営業自粛や営業時間の短縮、外出自粛、インバウンドの蒸発などの影響で、極端な売上の減少と閉店が拡大しました。したがって、新規出店や機器の買い換え等の設備投資は大きく減少しております。一方、集団給食(福祉施設・病院・給食・学校等)やスーパーマーケット等は順調に推移しましたが、外食、ホテル等の減少分をカバーする程ではありませんでした。その結果、売上高は454億10百万円(前年同期比15.2%減)となりました。

利益につきましては、残業の抑制や社内販促イベントの中止、リモート活用による出張費削減、運送費の効率化等多岐にわたる徹底した経費削減を実行しましたが、15.2%の減収の影響を補うには至らず、営業利益は33億88百万円(前年同期比29.6%減)、経常利益は37億10百万円(前年同期比28.6%減)、親会社に帰属する当期純利益は25億4百万円(前年同期比30.3%減)となりました。

2. 前期個別実績との差異について

(1) 2021年2月期 通期個別実績と前期個別実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） （2020年2月期）	51,293	4,006	4,946	3,439	212円69銭
当期実績（B） （2021年2月期）	43,141	2,269	3,086	2,093	129円42銭
増減額（B－A）	△8,152	△1,736	△1,859	△1,345	△83円27銭
増減率（％）	△15.9	△43.3	△37.6	△39.1	－

(2) 差異の理由

当会計年度において、連結実績と概ね同様の理由により前期個別実績との差異が生じました。

以上